

清流

東京2020に向けて

【目の前を走り抜ける聖火ランナー、沿道の多くの人垣と歓声】…3歳だったはずの私の頭の中に鮮明に残っている記憶です。今考えれば、その年は1964年だったはずですが、場所は京町の旧国道3号線、京陵中学校横の交差点でした。私は、前回の東京オリンピックの聖火が熊本を走り抜けるのを、目の当たりにしているのです。

しかし、私にとって、前回の東京オリンピックに関する明確な記憶はこれだけです。当時、各家庭までにはテレビは普及していません。大会の様子をリアルタイムで見えることはできませんでした。私の家には車もありませんでした。どうやって京町まで行ったのか覚えていませんが、わざわざ家族で見に行ったことと沿道の人の多さで、何か特別な事が起きているのだと感じたことは覚えています。

年が明け、東京での二度目のオリンピックが、いよいよ来年に迫りました。

本校は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から「東京2020オリンピック・パラリンピック教育実施校」の認証を受けています。甲佐町教育委員会として認証を受けているので、町内の小中学校すべてが認証を受けていることになります。

その取組の中で、明日、1月18日(金)と2月8日(金)に、本校で関連行事が開かれることになっています。

明日は、14:00から本校体育館でオリンピックの講演と交流ができる事業を予定しています。来校されるのは、バルセロナ、アトランタと二回のオリンピック出場経験がある、バドミントンの水戸妃子選手です。町内の5・6年生全員が本校体育館に集まり、参加する予定です。水戸選手からの実技指導を受けることができる場面も準備しています。

また、2月8日は、オリンピックとともに、今回のオリンピック・パラリンピックのマスコットである「ミライトワ」と「ソメイティ」が来校する事業を予定しています。こちらは、組織委員会が直接行っている事業で、全国で17か所しか開催されないものだそうです。来校されるのは、北京オリンピックのバドミントンダブルスで4位に入賞経験がある、前田美順選手です。前田選手と交流するのは、当日の4時間目で、3・4年生対象を予定しています。2時間目には、全校児童が参加して「ミライトワ」、「ソメイティ」と交流する予定です。

東京2020に向けて、このような経験ができる学校は多くはありません。また、子どもたちにとって、もう一度経験できるかどうか分からないオリンピックの自国開催です。甲佐の地からオリンピックへの機運を高めるとともに、私にとって聖火リレーが特別な記憶になったように、本校の子どもたちにとっても、今回の事業が特別な記憶となって残ってくれればと思います。

また、どちらの事業も保護者の方々の見学を歓迎いたします。フロアでご覧いただけるか、二階からになるのかは、状況により判断させていただきますが、ご希望の方はご覧いただけるようにいたします。

どうぞご来校ください。